

観光振興セミナー 2025

オープン・ラボ Online

～観光の新たなカチ・カタチ～

じゃらん流！観光DX
事業者（飲食店・宿泊施設）と行政の最新DXの取り組み

2025年6月12日（木）

株式会社リクルート じゃらんリサーチセンター

研究員 木島 達也



▲本講演資料はこちらのQR
コードからDLいただけます



じゃらんリサーチセンター 研究員
木島 達也 (きじま たつや)

- 1990年** **株式会社リクルート入社**
人材総合サービス部門で20年以上、人材戦略などの経験を有する。
- 2011年** 『じゃらんリサーチセンター』に着任
- 2015年** 同、地方創生プロジェクトマネジャーおよび
総合企画グループマネジャー着任
- 2021年** 同、エグゼクティブプロデューサー 兼 研究員に着任

DXとは

デジタル技術の活用やデータの収集・活用により、生産性や業務効率を高めること

これを通じて

観光DXでは

- ✓ 行政やDMOにおいては、現状把握や観光戦略に活かしていくこと
- ✓ 地域事業者においては、事業の生産性や効率化、収益向上に活かしていくこと

これらのモデルケース作りを推進してきた。

この3年間で生まれたモデルケースやそれらの転用・応用の事例について
今回の研究にて発表する。

これまでの3年間、観光DXの**モデルケース**を作り上げるため様々な取り組みを実践してきた。

- ・ 地域のデータを収集
- ・ 課題（混雑など）を解消し、利便性を上げる

その過程で、**様々な課題・問題**や**技術の進化**と直面してきた。

DXの推進



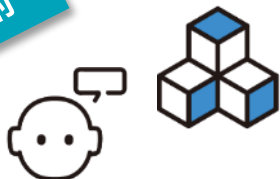
- ・ 導入に莫大な費用がかかってしまう
→初期費用だけでなく、ランニングコストも莫大になるケースも
- ・ 活用できるスキルが必要
→誰でも活用できるものでなければ、普及しにくい

データの活用



- ・ 地域事業者では有効活用しにくい？
→難しい、分かりにくい、などの理由から扱いきれないケースも

AI技術



- ・ 生成AIの進化など、目まぐるしく先進技術が誕生
→安価もしくは無料でも、活用可能な技術が生まれている

01

行政 が観光振興計画策定に『じゃらんエリアダッシュボード』のデータを活用した事例

02

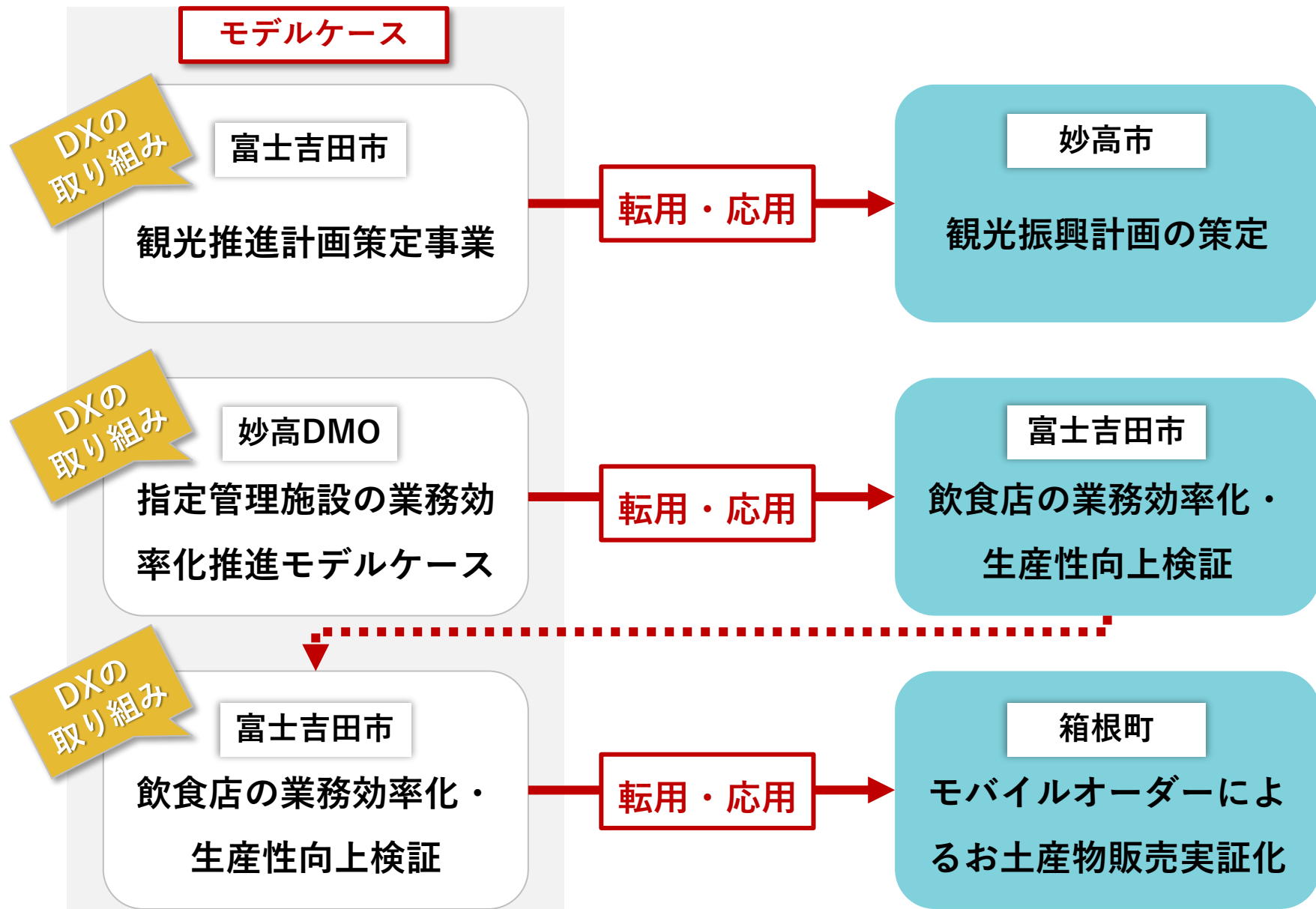
飲食店 が「業務効率化」と「売上向上」の両立に成功した事例

03

宿泊施設 によるモバイルオーダーを活用した客室内お土産物購入の実証化

04

行政 が生成AI活用によりSNS情報発信業務の効率化を実現した事例



Case 1

妙高市観光振興計画の策定

妙高市

→ **行政** が観光振興計画策定に『じゃらんエリアダッシュボード』のデータを活用した事例

Case 2

デジタル技術を活用した飲食店の業務効率化・生産性向上検証

富士吉田市

→ **飲食店** が「業務効率化」と「売上向上」の両立に成功した事例

Case 3

モバイルオーダーによるお土産物販売実証化

箱根町

→ **宿泊施設** によるモバイルオーダーを活用した客室内お土産物購入の実証化

Case 4

生成AIやITツールの活用によるSNS情報発信業務の効率化

忍びの里
伊賀甲賀
忍者
協議会

→ **行政** が生成AI活用によりSNS情報発信業務の効率化を実現した事例

Case 1

妙高市

妙高市観光振興計画の策定

→ **行政** が観光振興計画策定に『じゃらんエリアダッシュボード』のデータを活用した事例

Case 2

富士吉田市

デジタル技術を活用した飲食店の業務効率化・生産性向上検証

→ 飲食店 が「業務効率化」と「売上向上」の両立に成功した事例

Case 3

箱根町

モバイルオーダーによるお土産物販売実証化

→ 宿泊施設 によるモバイルオーダーを活用した客室内お土産物購入の実証化

Case 4

忍びの里
伊賀甲賀
忍者
協議会

生成AIやITツールの活用によるSNS情報発信業務の効率化

→ 行政 が生成AI活用によりSNS情報発信業務の効率化を実現した事例

Case 1 妙高市観光振興計画の策定

妙高市観光振興計画の策定にあたり、「富士吉田市観光推進計画策定事業」を転用。
『じゃらんエリアダッシュボード』のデータや、DMOが保有する「タクシー予約システム」や「スキー場ICゲート」のデータを活用し、さらに、モニタリングのためのデータ収集に活用する「来訪者アンケートシステム」も新たに構築した。

参考

富士吉田市
観光推進計画
策定事業

活用

じゃらんの
ビッグデータ



地域が保有
するデータ

1 『じゃらんエリア
ダッシュボード』

2 タクシー予約
システム

3 スキー場ICゲート

4 (新設)来訪者アン
ケートシステム

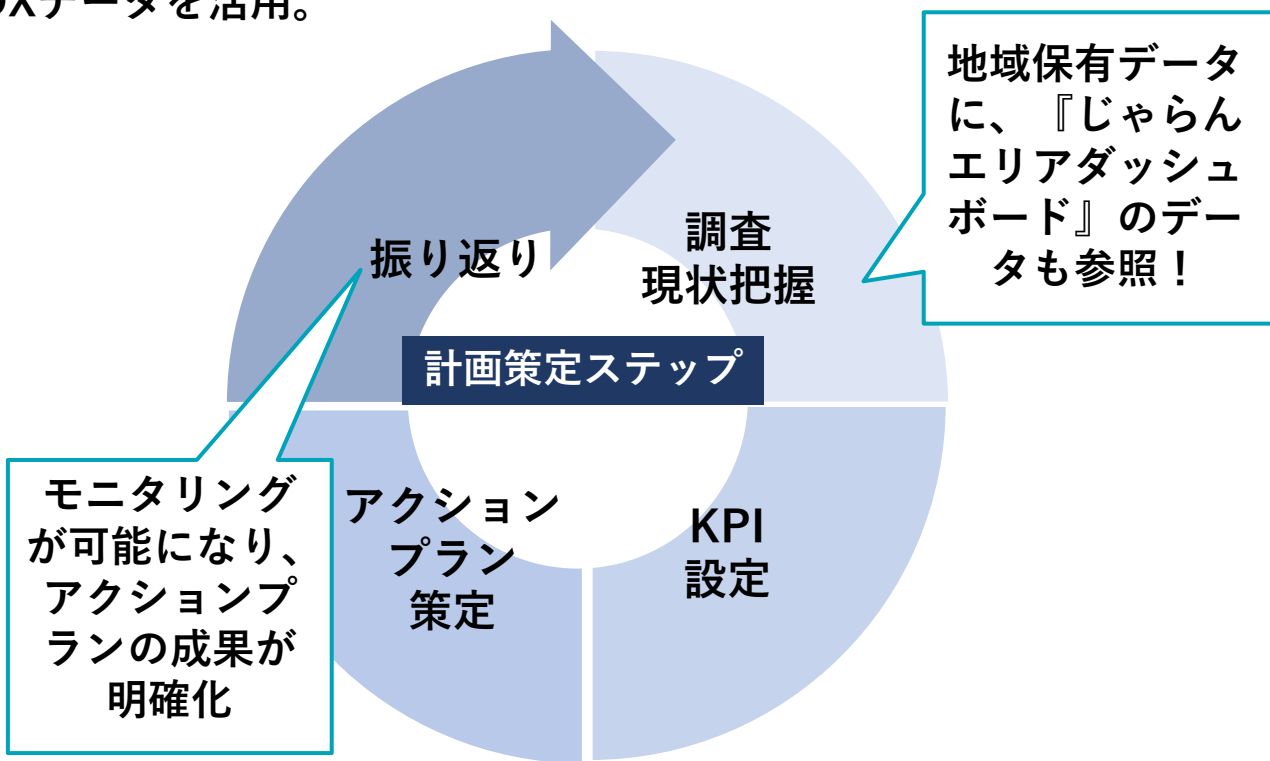
妙高市観光振興計画



転用・応用したモデルケース

富士吉田市観光推進計画策定事業

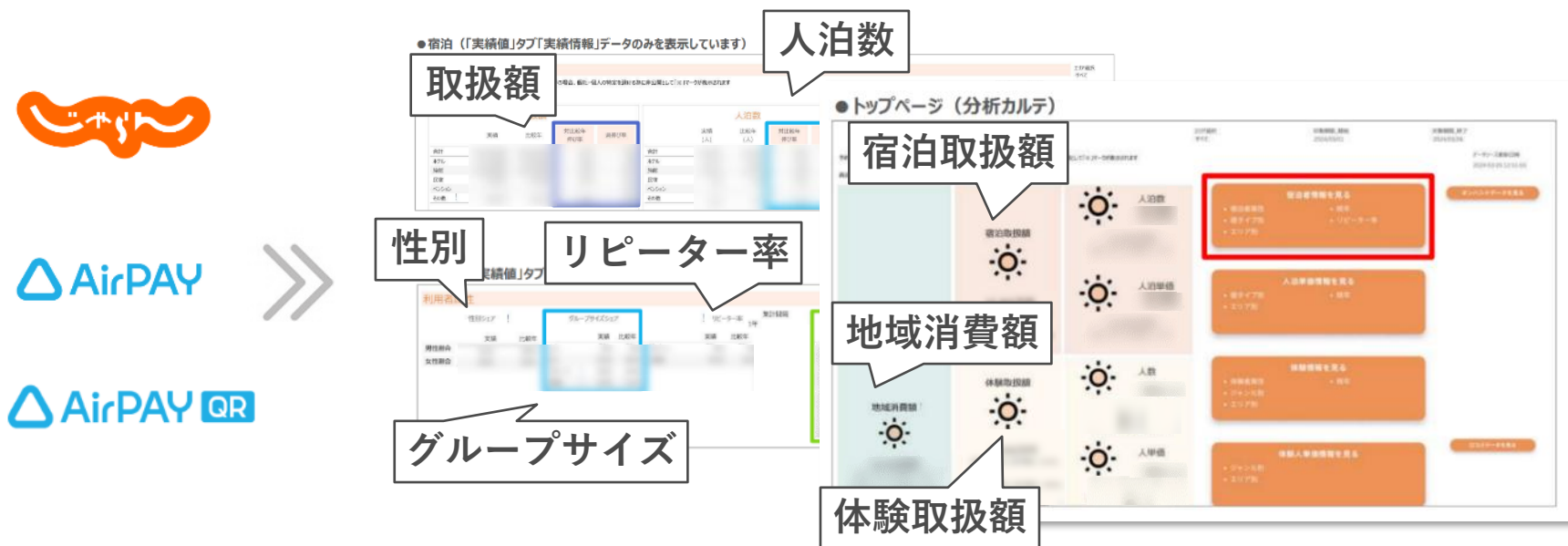
2023年10月から5年間の観光推進計画を策定。基本施策とアクションプランを策定し、計画のモニタリングにDXデータを活用。



活用したデータ①

じゃらんエリアダッシュボード(※)

※『じゃらんnet』の「宿泊」、「遊び・体験」、「口コミ」の統計データと、お店の決済サービス『Airペイ』、『Airペイ QR』の決済統計データを可視化し、閲覧できるサービス。



リクルートが所有する宿泊データや消費額データなどの**ビッグデータ**を、
2025年度からの「**妙高市観光振興計画**」の策定に活用。

活用したデータ②

来訪者アンケートシステム

繁閑差が大きくグリーンシーズンの誘客が課題であることから、冬季のスキー以外で来訪した方の来訪目的や満足度などを把握することを目的にアンケートシステムを構築。

↓ アンケート画面



↓ 店舗配布用チラシ（日本語、英語）



調査結果は前述の『じゃらんエリアダッシュボード』も参考にし、さらなる誘客のためのマーケティング・プロモーションにも活用。

活用したデータ③

インバウンド向け タクシー予約システム

ユーザーが利用時に回答するアンケートの結果（国籍、来訪人数、宿泊日数、訪日回数など）をデータとして蓄積。



↑ QRコードを掲載したチラシ

活用したデータ④

スキー場ICゲート

妙高エリアで一体的にICゲートシステムの導入をすることにより、ユーザーの利便性向上と同時にマーケティングデータの取得を実現した。

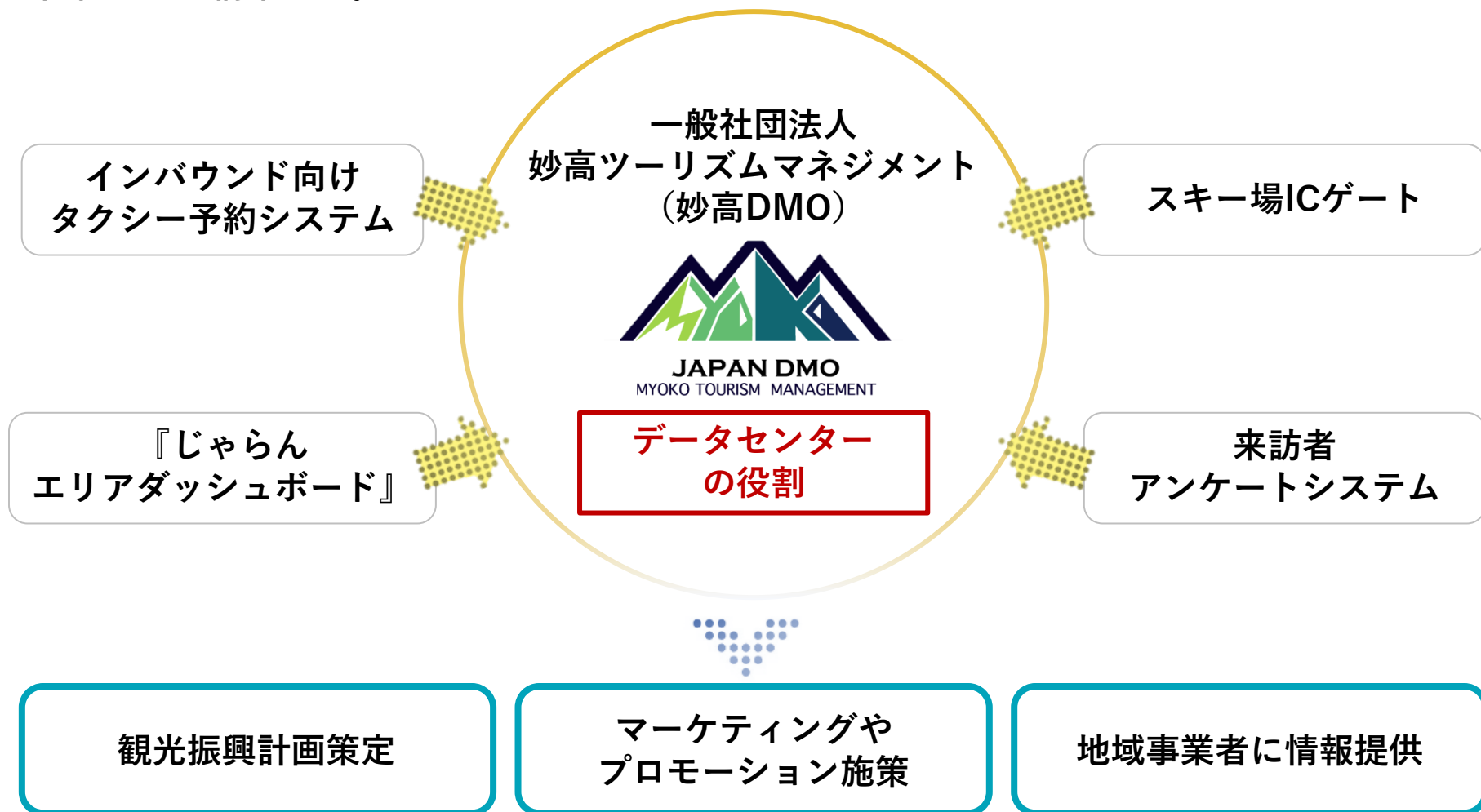


↑ Mt.MYOKOスノー
エリア図



↑ スマート
ゲート

『じゃらんエリアダッシュボード』のデータと地域データを参考にし、DMOにて一括集約する仕組みを構築。観光振興計画の策定に加え、マーケティングやプロモーション施策にも活用。また、来訪者アンケートシステムで得られた情報などは地域事業者に情報提供できる仕組みまで構築した。



Case 1

妙高市観光振興計画の策定

妙高市

→ 行政 が観光振興計画策定に『じゃらんエリアダッシュボード』のデータを活用した事例

Case 2

デジタル技術を活用した飲食店の業務効率化・生産性向上検証

富士吉田市

→ 飲食店 が「業務効率化」と「売上向上」の両立に成功した事例

Case 3

モバイルオーダーによるお土産物販売実証化

箱根町

→ 宿泊施設 によるモバイルオーダーを活用した客室内お土産物購入の実証化

Case 4

生成AIやITツールの活用によるSNS情報発信業務の効率化

忍びの里
伊賀甲賀
忍者
協議会

→ 行政 が生成AI活用によりSNS情報発信業務の効率化を実現した事例

Case 2

デジタル技術を活用した飲食店の業務効率化・生産性向上検証

過年度に妙高DMO指定管理施設「NAGOMI CAFE」にて行った「Air ビジネスツールズ」を活用した成功事例を、富士吉田市の飲食店に転用。店舗の売上、業務生産性などにおける効果の検証を行い、総合的DXツールの導入による業務生産性向上を目指した。

参考

妙高DMOにおける「Air ビジネスツールズ」を使った「指定管理施設の業務効率化推進モデルケース」

課題・背景



- ・ 忠霊塔の人気から観光事業に力を入れてきた
- ・ コロナが明け、忠霊塔には想定以上の外国人観光客が来訪
- ・ オーバーツーリズムにより、観光予算は交通整備に消えてしまう状態

→ 来訪する外国人の消費を事業者側からの整備へ



活用

「Air ビジネスツールズ」

『Airペイ』や『Airレジ オーダー』などの業務・経営支援サービスを、富士吉田市内の4事業者を導入。

AirPAY

AirREGI オーダー



転用・応用したモデルケース

妙高DMOにおける「Air ビジネスツールズ」を使った 「指定管理施設の業務効率化推進モデルケース」

NAGOMI CAFE

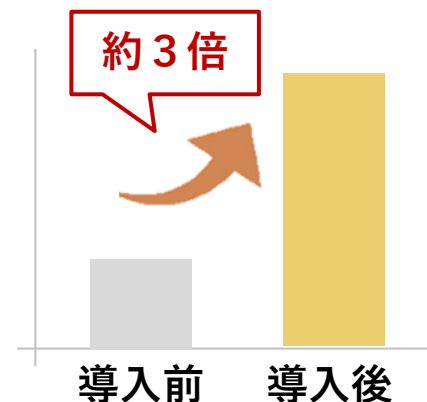


- ・ 妙高市テレワーク研修交流施設
「MYOKO BASE CAMP」の併設カフェ
- ・ 妙高DMO指定管理施設



2024年度に『Airペイ』、『Airシフト』、『Airレジ オーダー』、
『Airリザーブ』を導入。

業務効率化や生産性向上につながり、店舗の売上は導入前の
約3倍にまで上昇した。



導入実績 1 __ おやこ食堂いこい

導入前の課題・背景

- ・ 昼間は子連れ家族向けに昼食を提供（ワンオペレーション）、夜は両親が居酒屋を経営。
- ・ 予約なし来店もあり、**来店数予測は立てにくい**。
- ・ 日ごとの**繁閑差**があり**アルバイトは雇いにくい**（収益悪化が懸念）。
- ・ 店舗構造が複雑で、**注文の聞き取りや配膳に苦勞**。

導入結果

導入直後

- ・ 注文を取りに行かずに調理ができ、満席時は特に効果を感じている。
- ・ これまでよりも**追加注文が入るケースが多い**と感じている。
- ・ アルバイトを雇用せずとも、当面は運営できそう。
- ・ 今後は**アップセル**を狙うために、デザートなどを用意してみたい。

導入後半年

- ・ 客数・売上共に増加、**増えるお客様への対応も問題なくできている**。
- ・ **追加注文も増えており、客単価も増えている**ことが分かる。
- ・ 一方で外国人の翻訳が分かりにくいようなので、多言語メニューなどでの対応は必要。



導入実績2 __ やきとりとばり

導入前の課題・背景

- 夜からのみの焼き鳥居酒屋。
- 仕入れ価格や在庫の変動が大きく、都度メニュー表の変更が必要であり面倒であった。そのため価格は上げずに対応しており、**利益に影響**が出ていた。
- 多い日には**半分以上が外国人のケース**もある。

導入結果

導入直後

- 注文がタブレットで確認でき、**提供し忘れがなくなった**。
- これまで**客単価が明らかに上がった**（客自身で現在の会計状況を確認できるためと推察）。

導入後半年

- **業務生産性がとても向上した**。
- 客数・売上共に増加したが、**増えるお客様への対応も問題なくできている**。
- **追加注文**も増えており、客単価も増えていることが分かる。
- 外国人客にもうまく利用してもらえている。



導入実績3 __海賊料理 魚重

導入前の課題・背景

- ・ 昼間は外国人中心。忠霊塔に来る外国人の口コミもあってか、たいへん多くの来店者となっている。
- ・ 来店する外国人は国籍がバラバラであるが、基本的には英語での説明を行っていた。
- ・ 店舗の構造上（大広間）、注文を取りに行くのは苦労があった。

導入結果

導入直後

- ・ QR注文作業は問題なし、大多数を占める外国人客も問題はない。
- ・ これまでよりも客単価が上がっていると感じている。
- ・ 今後は2階も開放して、生産性を上げようと検討している。

導入後半年

- ・ 業務生産性がとても向上した。
- ・ 客数・売上共に増加、**増えるお客様への対応も問題なくできている。**
- ・ 追加注文も増加、客単価も上がっている。
- ・ 2階も開放、『Airレジ オーダー』を導入し対応も問題なし。



導入実績4 __ぱんじゃ

導入前の課題・背景

- ・ 昼間から夜にかけて営業。大半が日本人で、高齢者も多い。
- ・ お好み焼きという特性上、注文を受けてから提供するまでに時間がかかるので、座席あたりの滞在時間は長くなってしまった。
- ・ 提供までの時間を埋めるためのサイドメニューの注文をどれだけ受けられるかが売上に寄与する状態。
- ・ 注文を受ける作業はそれなりの時間を要していた。

導入結果

導入直後

- ・ 注文をお客様側が担ってもらうためか、これまでよりも客単価が上がっていると感じている。
- ・ QR注文によってこれまでよりも注文が多くなっている感じがしている。

導入後半年

- ・ 業務生産性がとても向上した。
- ・ 客数・売上共に増加、**増えるお客様への対応も問題なくできて**いる。
- ・ 混雑している時に、特に導入の効果が出ていると思われる。



検証を行った事業者においては、明るみになった課題もあるものの、「**売上増加**」や「**業務生産性の向上**」といった多くの成果を得られた。

得られた成果



- 売上増加
- 追加注文増加
- アップセル実現
- 提供漏れがなくなった
- 業務生産性が向上
- 席数拡大
- 混雑時の負担減

など

明るみになった課題



- 質問を受けるなどの手間が発生
- 店舗面積が大きい場合、直接注文を受けられるほうが早い
- 高齢のアルバイトさんには使いこなせない

など



2025年6月に、**商工会議所**を通じて**地域事業者を集めた報告・勉強会の実施**が決定

Case 1

妙高市観光振興計画の策定

妙高市

→ 行政 が観光振興計画策定に『じゃらんエリアダッシュボード』のデータを活用した事例

Case 2

デジタル技術を活用した飲食店の業務効率化・生産性向上検証

富士吉田市

→ 飲食店 が「業務効率化」と「売上向上」の両立に成功した事例

Case 3

モバイルオーダーによるお土産物販売実証化

箱根町

→ **宿泊施設** によるモバイルオーダーを活用した客室内お土産物購入の実証化

Case 4

生成AIやITツールの活用によるSNS情報発信業務の効率化

忍びの里
伊賀甲賀
忍者
協議会

→ 行政 が生成AI活用によりSNS情報発信業務の効率化を実現した事例

Case 3

モバイルオーダーによるお土産物販売実証化

人材雇用の難しい宿泊施設などに対する人材DXプロジェクトとして、「モバイルオーダーによるお土産物販売実証化」を試験的に実施。総合的DXツールの導入による業務生産性向上を推進すると同時に、アップセルも期待できる取り組みを目指した。

参考

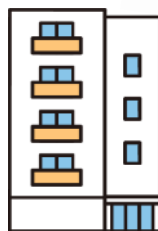
富士吉田市に
おける飲食店
の観光DX推
進モデル業務

課題・背景

宿泊施設でのお土産物販売は、スタッフの配備や教育などの点で、課題が多い

商品に関する
教育

人材
不足



常駐
スタッフ

活用

『Airレジ オーダー』

『Airレジ オーダー』の活用により、客室内で注文、チェックアウト時の受け取りが可能に

 AirREGI オーダー



※モバイルオーダー
店外販を活用

転用・応用したモデルケース

富士吉田市における飲食店の観光DX推進モデル業務

おやこ食堂 いこい（富士吉田市）



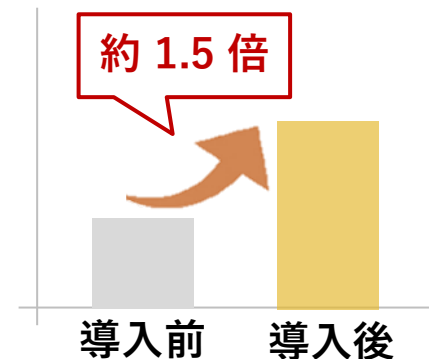
- ・ 「食事処いこい」として、富士吉田市で40年以上の歴史を持つ。
- ・ 2017年4月より、昼は「おやこ食堂いこい」として営業。

2024年6月より『Airレジ オーダー』を導入。

人員不足時の会計対応などで大きく業務効率化に貢献。

導入後は追加注文も増え客単価が上昇。

店舗の売上は導入前の約1.5倍にまで及んだ。



「本来飲食店のテイクアウト用に開発されたDXツールを、
宿泊施設に転用利用できないか？」と発想

実証を行った宿泊施設

ススキの原 一の湯



箱根屈指の観光スポットであるススキの原近くに位置する温泉宿。

本館・別館合わせた全ての客室に、プライベートを重視した天然温泉の露天風呂付き客室を用意。

ホテルマイユクール祥月

箱根湯本の自然・街並みを見渡す高台に位置する、リゾート型スパホテル。

“女性の目線で”をコンセプトに、箱根町の天然温泉と季節のフルコースディナーを楽しめるホテル。



お土産物売り場（一の湯様）



↓ お土産物売り場（ホテルマイユクール祥月様）



📌 **設置チラシイメージ**（部屋置き、チェックイン時の手渡し、お土産物売り場での掲示など）

自分のスマホですぐに注文・会計!

Please use Mobile-Ordering App

※これらはあくまでもイメージです。

※These are only images using your smartphone.

※These are only images to start ordering.

アクセスの方法 How to Access

1 カメラでQRコードを読み取る
Scan the QR-code

2 規約に同意する
Agree to terms

3 リクルートID ログイン
Select gray button if you don't have a [Recruit ID]

4 利用開始
Start ordering

注文・会計の方法 How to Order and Pay

1 カートに入れる
Add to cart

2 注文へ進む
Check your cart

3 注文する
Confirm your order

4 お支払い
Pay by card

※iPhoneは、画面下部の他の店や登録されたApple IDの画像が表示されます。 QRコードは株式会社リクルートグループの登録商標です。 画面内図は2023年4月現在のものとされ、変更の可能性がございます。

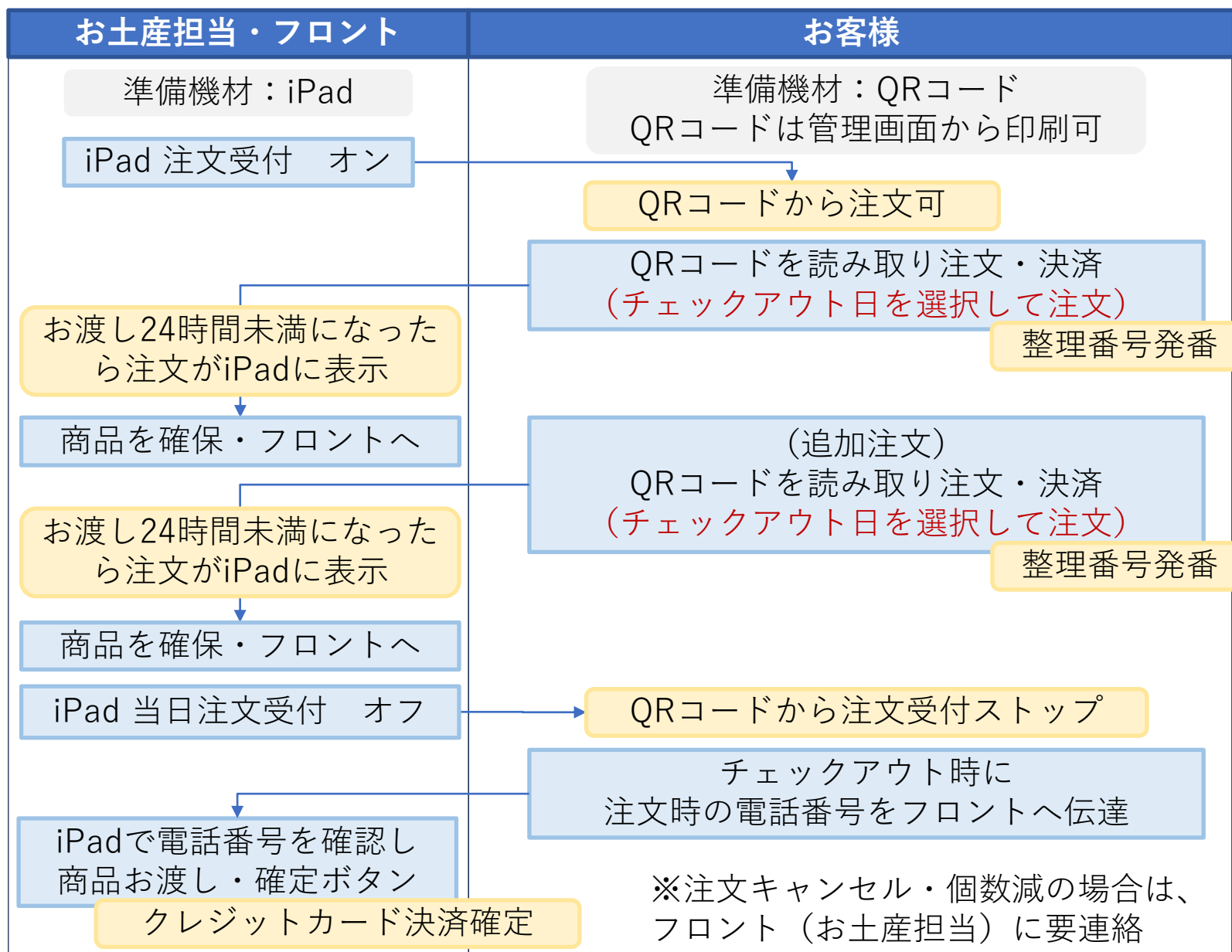
[illegible]

→
注文の流れ

チェ
ック
イン

滞在

チェ
ック
アウト



Case 1

妙高市観光振興計画の策定

妙高市

→ 行政 が観光振興計画策定に『じゃらんエリアダッシュボード』のデータを活用した事例

Case 2

デジタル技術を活用した飲食店の業務効率化・生産性向上検証

富士吉田市

→ 飲食店 が「業務効率化」と「売上向上」の両立に成功した事例

Case 3

モバイルオーダーによるお土産物販売実証化

箱根町

→ 宿泊施設 によるモバイルオーダーを活用した客室内お土産物購入の実証化

Case 4

忍びの里
伊賀甲賀
忍者
協議会

生成AIやITツールの活用によるSNS情報発信業務の効率化

→ **行政** が生成AI活用によりSNS情報発信業務の効率化を実現した事例

Case 4 生成AIやITツールの活用によるSNS情報発信業務の効率化

行政職員によるSNSを活用した情報発信に係る作業の合理化に向けて、**生成AI**や**ITツール**の活用によるキャラクター設定および記事作成の半自動化などの仕組みを構築。WEBやSNS運用における**人的・経済的負担の軽減**につなげたとともに、担当者の経験やスキルに左右されない**運用品質の維持**を可能にした。

課題・背景

地域の情報発信のためのSNSは不可欠であるものの、職員の異動などで対応にバラつきが生じていた。

→職員が代わっても稼働できる体制構築が急務であった。



活用

生成AI・ITツール

ChatGPT、Canva、会話型AIプラットフォーム（miibo）などを活用。

→データベースを作り、配信する情報の正確性を担保しながら、SNS投稿などを半自動化で作成する仕組みを構築。



伊賀・甲賀の
忍者に
関するデータ



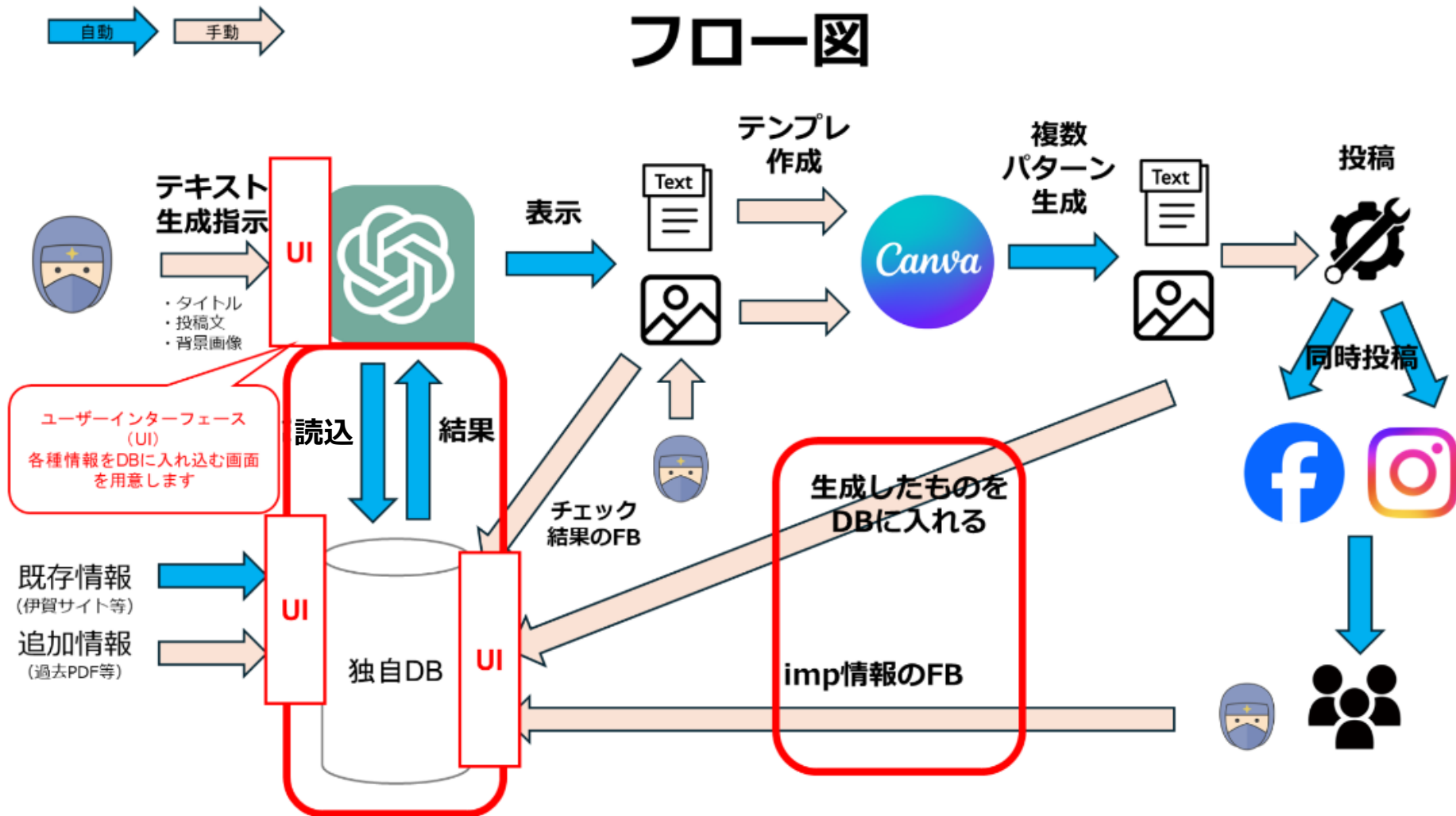
データベース

Facebook

Instagram

業務フロー

フロー図



事業で作成したアバター



伊賀忍者「音羽半六」



甲賀忍者「望月出雲」

ChatGPTのモデルを使用。また独自に回答する際の人格を設定。

伊賀・甲賀の忍者に関するデータをDBに蓄積し、蓄積したデータを基に回答を生成。

↓ テキスト生成を行うUI



ChatGPTが回答を生成。人格を設定しているため、内容に合わせて語尾も変わる。

伊賀の福地城跡について天正伊賀の乱に関する歴史的背景を踏まえSNSで投稿する目的で分かりやすく500文字でまとめてください

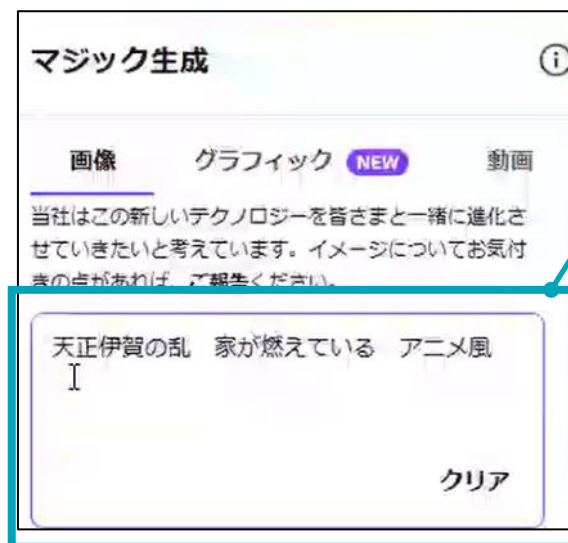
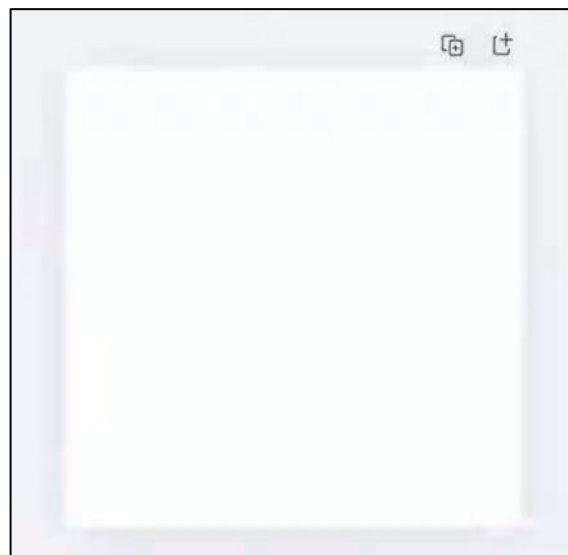
福地城跡は、伊賀の中世城館群の一部であり、天正伊賀の乱において重要な役割を果たした場所です。天正伊賀の乱は、1581年に織田信長が伊賀を攻めた戦いであり、伊賀の地侍たちが信長の軍勢に対抗した激しい戦いであったとされています。この乱は、伊賀者たちの自治組織「伊賀惣国一揆」が織田軍に徹底抗戦する形で展開されたとされています。福地城は、その戦いの中で防衛拠点として機能し、伊賀者たちが信長軍の侵攻を食い止めようと奮闘した場所です。城の主郭は東西23m～30m、南北53mの規模で、周囲には高さ3mの土塁が巡らされ、石蔵跡や井戸が残っているとされています。また、城の西側には日常雑器が出土しており、当時の生活の痕跡を伝えているとされています。このような歴史的背景から、福地城跡は伊賀者たちの勇敢な

↓ 指示文のFMT

SNS投稿作成用の指示文を選択式で作成できるようにFMT化を実施。

地域	構成文化財	関連要素	目的
伊賀	の 福地城跡	天正伊賀の乱	SNSで投稿する
	について	に関する歴史的背景を踏まえ	目的で

画像生成



テキストを入力するだけで、右図のような画像を作成可能。



Canva上で画像やロゴ、テキストを入力し、SNS投稿画像を作成可能。



複数のSNSへの投稿

投稿を作成



投稿の詳細

☒ FacebookとInstagram用の投稿をカスタマイズ

テキスト

福地城跡は、伊賀の中世城館群の一部であり、天正伊賀の乱において重要な役割を果たした場所です。天正伊賀の乱は、1581年に織田信長が伊賀を攻めた戦いであり、伊賀の地侍たちが信長の軍勢に対抗した激しい戦いであったとされています。この乱は、伊賀者たちの自治組織「伊賀惣国一揆」が織田軍に徹底抗戦する形で展開されたものです。福地城は、その戦いの中で防衛拠点として機能し、伊賀者たちが信長軍の侵攻を食い止めようと奮闘した場所です。城の主郭は東西23m、南北33mの規模で、周囲には高さ3mの土塁が巡らされ、石蔵跡や井戸が残っているとのこと。また、城の西側には日常雑器が出土しており、当時の生活の痕跡を伝えているとのこと。このような歴史的背景から、福地城跡は伊賀者たちの勇敢な戦いと忍者たちの歴史を物語る貴重な遺跡であり、訪れる人々に戦国時代の伊賀の姿を伝えているとのこと。



日本遺産「忍びの里 伊賀・甲賀」

たった今・

福地城跡は、伊賀の中世城館群の一部であり、天正伊賀の乱において重要な役割を果たした場所です。天正伊賀の乱は、1581年に織田信長が伊賀を攻めた戦いであり、伊賀の地侍たちが信長の軍勢に対抗した激しい戦いであったとされています。この乱は、伊賀者たちの自治組織「伊賀惣国一揆」が織田軍に徹底抗戦する形で展開されたものです。福地城は、その戦いの中で防衛拠点として機能し、伊賀者たちが信長軍の侵攻を食い止めようと奮闘した場所です。城の主郭は東西23m、南北33mの規模で、周囲には高さ3mの土塁が巡らされ、石蔵跡や井戸が残っているとのこと。また、城の西側には日常雑器が出土しており、当時の生活の痕跡を伝えているとのこと。このような歴史的背景から、福地城跡は伊賀者たちの勇敢な戦いと忍者たちの歴史を物語る貴重な遺跡であり、訪れる人々に戦国時代の伊賀の姿を伝えているとのこと。



Facebookの投稿

Instagram

31

nihonisan_shinobi



♡

💬

🔗

nihonisan_shinobi 福地城跡は、伊賀の中世城館群の一部であり、天正伊賀の乱において重要な役割を果たした... more

Instagramの投稿

複数のSNSに投稿可能なツールを用いて、画像やテキストを入力するだけで、自動的に右図の内容が作成・投稿可能。

↓ 画像作成の進化 ※事業期間以後に地域側で運用を追加

静的な画像から生成AIを用いて、動きや背景のある画像を作成可能。

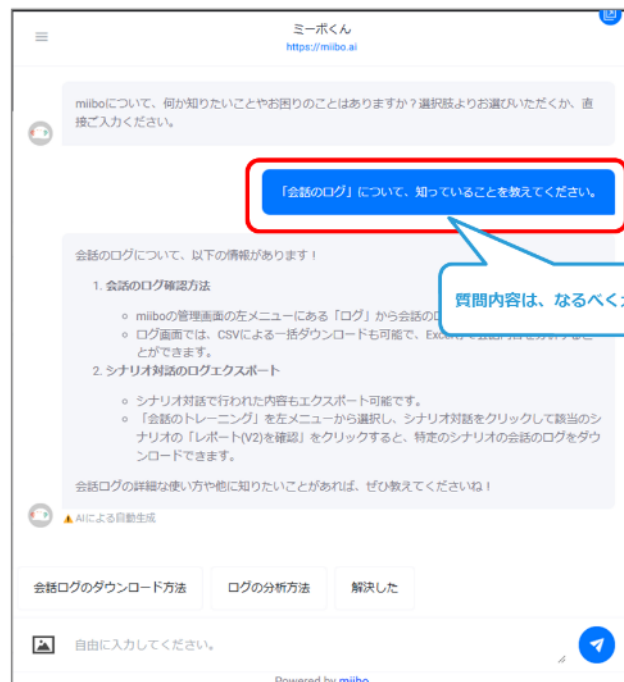


作成可能な画像

↓ SNS発信に係るオペレーションマニュアル（一部）

1 お問い合わせチャットの活用

画面右下の から、miiboの機能についてAIに質問ができます。



ワンポイント✕

インポートしている情報がそれほど多くないので、限定的な尋ね方をすると答えが返ってこない場合があります。「○○の△△が××のときどうすればよい？」よりも「○○について知っていることを教えて」と聞くほうが回答が返ってきます。

公式マニュアルの該当箇所も教えてくれるのでデファレンスとして活用するのがおすすめです。

13

1 マルチ投稿

マルチ投稿ツールからポストを投稿する方法を解説します。

Mwta Business Studio



15

Case 1

妙高市観光振興計画の策定

妙高市

→ **行政** が観光振興計画策定に『じゃらんエリアダッシュボード』のデータを活用した事例

Case 2

デジタル技術を活用した飲食店の業務効率化・生産性向上検証

富士吉田市

→ **飲食店** が「業務効率化」と「売上向上」の両立に成功した事例

Case 3

モバイルオーダーによるお土産物販売実証化

箱根町

→ **宿泊施設** によるモバイルオーダーを活用した客室内お土産物購入の実証化

Case 4

生成AIやITツールの活用によるSNS情報発信業務の効率化

忍びの里
伊賀甲賀
忍者
協議会

→ **行政** が生成AI活用によりSNS情報発信業務の効率化を実現した事例

2025年度は、本日発表した事例をさらに転用・応用して推進していく。

妙高市

転用・応用

(箱根町) テイクアウトカフェ運営・売店効率化の取り組み



【妙高DMO】指定管理施設の効率的収益化のための取り組み

富士吉田市

検証

(富士吉田市) デジタル技術を活用した
飲食店の業務効率化・生産性向上検証



【富士吉田市】商工会議所との連携による普及活動

箱根町

検証

(箱根町) モバイルオーダーによるお土産物販売実証化



【箱根町】成功モデルの確立 → 地域内のほかの宿への転用

観光振興セミナー 2025

オープン・ラボ Online

～観光の新たなカチ・カタチ～

ご視聴いただきありがとうございました

本講演内容に関してのご意見・ご要望は
以下のメールアドレスまでお問い合わせください

株式会社 リクルート
じゃらんリサーチセンター
jalan_rc@r.recruit.co.jp



▲本講演資料はこちらのQR
コードからDLいただけます

【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

- 本資料は、株式会社リクルート（じゃらんリサーチセンター）の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。

事前に当社までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮頂く場合もございます、予めご了承ください。

※問い合わせ先

【メディア・報道機関の皆様】株式会社リクルート 広報担当 <https://www.recruit.co.jp/support/form/>

【その他企業・自治体・一般の皆様】じゃらんリサーチセンター事務局 E-mail: jalan_rc@r.recruit.co.jp

- 本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客様の判断で利用してください。
- また、資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。